

山形県白鷹町

白鷹町まちづくり複合施設 ～自分で作る、自分達で作る、地域で作る 最強のローカル～



## プログラムの内容

白鷹町全体の約65%を覆う森林。しかしながら、長く続く木材価格の低迷により、戦後植林された人工林は手入れが行われず状況であり、平成25・26年の豪雨災害では土砂災害の一因となりました。同時期に、白鷹町では役場庁舎をはじめとする公共施設の老朽化や耐震不足への対応に向けて準備が進められていました。そのような状況の下、町産材を活用した「白鷹町まちづくり複合施設」が設計・整備されました。

役場庁舎、図書館、防災センター、中央公民館が一体となったこの施設は、公共施設の老朽化や耐震不足への対応、度重なる災害対策への拠点機能強化、行政サービス強化を目的に、町民ワークショップを何度も開催し合意形成を図りながら建設され、令和2年度木材利用優良施設コンクールにおいて最高賞である内閣総理大臣賞を受賞しました。

本プログラムでは、「白鷹町まちづくり複合施設」を通して、地域のあり方、コミュニティの作り方、循環型社会の構築について考察いたします。

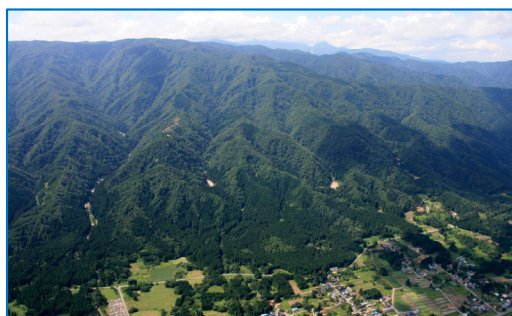
## 👉 見どころ！ここがポイント！

●地域関係者が一丸となり連携し、町産材をふんだんに活用した木のぬくもりが感じられる高いデザイン性が特徴の「白鷹町まちづくり複合施設」。以下のような課題をどのように乗り越えたのでしょうか。是非現地で、確認してみてください。

- ①雪の重みに耐える強度、耐火基準をどうする!?
- ②町産材は長さ4m規格までしか運搬できない!?
- ③若者を含め地域住民が集う場所にするにはどうする!?
- ④町内経済循環を促進するために木材乾燥センターまで作っちゃった!?

## SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」

- ゴール7(ターゲット7.2) 太陽光、木材バイオマス発電など再生可能エネルギーの活用事例を学ぶ
- ゴール11(ターゲット11.7) 誰もが利用しやすい公共施設のあり方を考える
- ゴール17(ターゲット17.17) 公的、官民、市民社会の連携、情報共有のあり方を考える



山腹崩壊の様子



白鷹町まちづくり複合施設（外観）



複合施設で活用されている町産材



大会議室（町産材を活用）

## 事前学習

- 自分の住む地域の地域資源（自然、歴史、特産品、伝統技術等）について、調べてみよう。
- 自分の住む地域の行政サービスや補助金について、どのようなものがあるか調べてみよう。また、それらをどのように広報しているか調べてみよう。

## 現地学習

- 「白鷹町まちづくり複合施設」が整備されるに至った背景についての説明
- 「白鷹町まちづくり複合施設」の館内見学  
町産材を最大限に活用する為に行われている工夫、特産の深山和紙、ペニ花がどう活用されているか探してみよう。
- 製材、乾燥センター、植林現場

## 事後学習

- 事前学習で調べたり自分の住む地域の資源の生かし方や、将来に渡りどう活用すべきか、話し合いまとめてみよう。
- どのような行政サービスや補助金があれば、良いか？それは実現可能なのかについて、住民と行政に分かれて考えをまとめ議論してみよう。

受入人数

10名～30名

対象

小学生・中学生・高校生

受入可能時期  
(休業日)

5月～10月（土日祝を除く）

1人/1回  
当たり料金1団体 10,000円  
(運営協力金1団体 3,300円別途要)

受入可能時間

9:00～17:00

備考  
(雨天対応等)

体験時間は、複合施設の見学の場合60分～となります。荒天時は、植林現場の見学はできません。

体験時間

2時間30分

## 問い合わせ

やまがたアルカディア観光局  
TEL: 0238-88-1831 FAX: 0238-88-1812  
Mail: info@arcadia-kanko.jp  
営業時間: 平日 9:00～17:00  
年末年始休業